

現庁舎／消防庁舎

耐震補強の実施を表明



12月7日、令和3年第4回垂水市議会定例会において、垂水市議会川越議長より、庁舎等の耐震化を求める決議文書が尾脇市長宛てに提出されました。それを受け、尾脇市長が現庁舎・消防庁舎の耐震補強の実施を議場において表明しました。

今の特集では、これまでの経緯を改めて振り返るとともに、垂水市議会からの要望内容、外部検討委員会からの意見内容の紹介、市長が耐震補強実施の表明に至った思いをお届けします。

12月 | 議会からの要望

垂水市議会から、庁舎等の耐震化を求める決議文書が、尾脇市長宛てに提出されました。

これまでの経緯

- 令和2年8月** 住民投票の結果を受け、前新庁舎計画の白紙化
- 令和2年10月** 鹿児島県より、耐震診断の実施・報告の命令が出される
- 令和3年4月** 耐震診断業務の委託契約を締結
- 令和3年5月** 「垂水市庁舎等のあり方検討委員会」を設置
庁舎等の今後のあり方、基本的方針を協議する外部検討委員会
(学歴経験者：5名、市内公共団体代表者：10名、公募委員：5名)
市議会が「庁舎整備検討特別委員会」を設置
現庁舎および消防庁舎の課題、その他を含め、合わせて新庁舎の課題を検討する、垂水市議会の特別委員会（議員13名で構成、議長はオブザーバーとして参加）
- 令和3年11月** 耐震診断の判定（暫定）結果が出揃う。
「垂水市庁舎等のあり方検討委員会」より、現庁舎の耐震化に対する意見書が提出される。

耐震診断の判定（暫定）

庁舎棟	新耐震基準
庁舎本館棟 庁舎本館増築棟	NG (不適合)
庁舎別館棟	OK (適合)
消防庁舎棟	NG (不適合)

新耐震基準で建築

庁舎新館棟	OK (適合)
-------	------------



▲20名の委員による委員会の様子



▲外部検討委員会が市長宛てに意見書を提出